

記者発表資料 2枚

平成27年7月1日  
福島県いわき建設事務所

「夏井地区海岸高潮対策事業」及び「平成23年災いわき石川線上釜戸工区公共災害復旧工事（道路）」が平成26年度全建賞を受賞しました。

## 1 概要

本県で実施した「夏井地区海岸高潮対策事業」及び「平成23年災いわき石川線上釜戸工区公共災害復旧工事（道路）」が（一社）全日本建設技術協会の平成26年度全建賞を受賞しました。

本賞は、一般社団法人全日本建設技術協会が設置し、「建設技術の活用」や「公共事業の進め方や運用の工夫等」により、特出した成果が得られた事業や施策に贈られるもので、昭和28年に創設された伝統ある賞です。

平成26年度全建賞は、全国より329事業の応募があり、77事業が受賞しました。なお、本賞は、筑波大学大学院システム情報工学研究科教授の石田東生氏を委員長とする同賞審査委員会で審査されました。

## 2 今回受賞した事業概要

### 〔夏井地区海岸高潮対策事業〕

東日本大震災の復旧復興事業として無堤区間であった夏井地区に延長920mの海岸堤防を新設しました。

本事業は、震災コンクリートがれきにセメント・水を加えたCSGを用いて建設したものであり、この技術はダムで開発されたCSGを海岸堤防へ応用した日本初の技術です。コンクリートがれきを有効利用することで、材料・処分費の両面からコスト縮減及び工期短縮を図ることができました。



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.

福島県いわき建設事務所



施工前



施工後

[平成 23 年災いわき石川線上釜戸工区効用災害復旧工事 (道路)]

平成 23 年 4 月 11 日発生の東日本大震災の最大余震により、幅 300m に及ぶ大規模な地すべりが発生し県道いわき石川線が通行止めとなったため、公共災害復旧工事により排土・アンカー工による地すべり対策を実施しました。

本事業では、建設発生土（約 19 万 m<sup>3</sup>）の運行経路を往路と復路で別ルートに設定することでダンプトラック等、大型車交通量の分散を図り、道路利用者の安全確保に配慮するとともに、ダンプトラックの滞留時間を減少することで効率的な施工を実施しました。



施工前



施工後

【問い合わせ先】

いわき建設事務所

主幹兼企画管理部長 河合 利広

電話 0246-24-6102 内線302

FAX 0246-24-6058